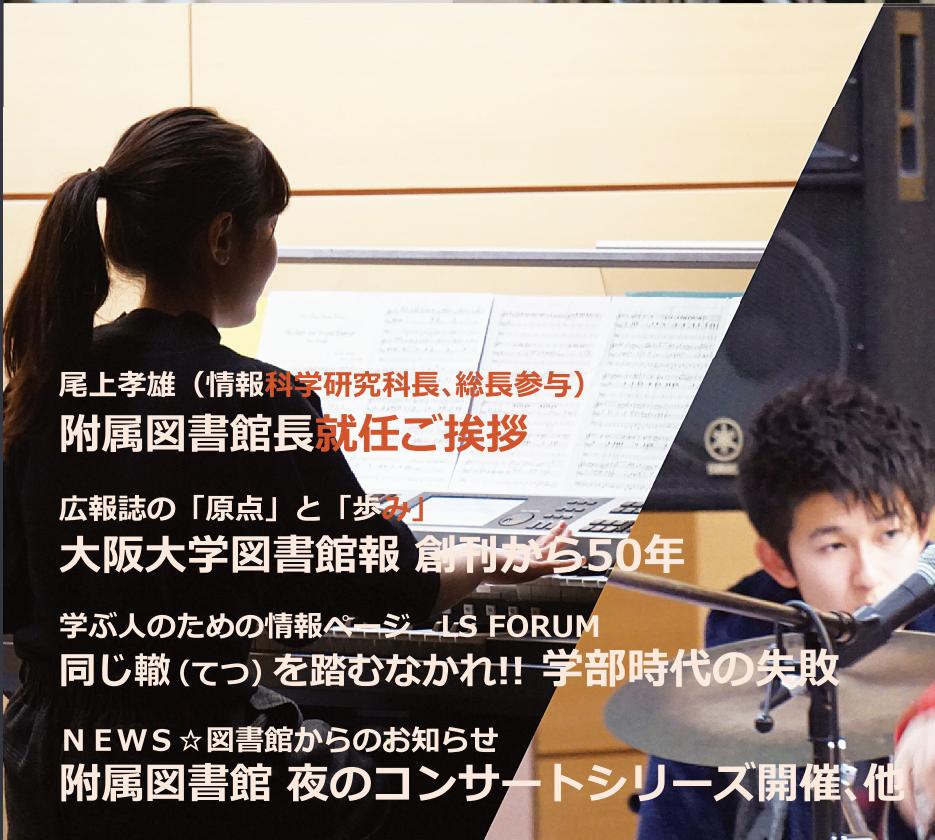


## 加地伸行文庫 のご紹介

中国哲学古典籍2500点超の寄贈を受けて設置



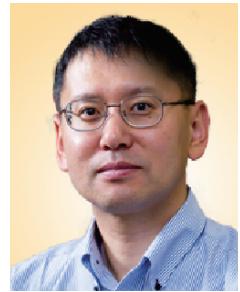
# 附属図書館長就任ご挨拶

## 知を紡ぐ「共創の場」をめざして

附属図書館長

(情報科学研究科長、総長参与)

尾上 孝雄



### 館長略歴

#### ●尾上 孝雄 (おのえ たかお)

大阪大学工学研究科博士課程修了。工学博士。1993年より大阪大学工学部助手・大型計算機センター講師、京都大学大学院情報学研究科助教授、大阪大学大学院情報科学研究科助教授・教授を経て、2015年より大阪大学大学院情報科学研究科長、総長参与。

専門領域は、システムオンチップ設計、メディア処理システムの実装、組込みシステムの低消費電力化など。画像・音声などの大規模メディアデータを効率よく処理できるシステム実装について研究を進めている。

大阪大学附属図書館は、大阪大学構成員（教職員約10,000人、学生約23,000人）全員に対し、知を育み・紡ぐための最適な環境の提供をめざしています。本学の掲げる教育・研究の理念・目標を支えるための拠点としての役割は、創設以来一貫しておりますが、情報関連技術の急速な進展によって、その形態は大きな拡張を見せております。

皆様ご存じの通り、電子ジャーナル、電子ブックやデータベース等の電子的情報基盤資料のコンテンツが提供され、研究・学修の一部の活動は時間・場所を問わずにできるようになってきました。一方で、約386万冊にのぼる蔵書や貴重資料の多くは電子化されているわけではなく、実際に4つの附属図書館に赴くことでこれらの「知的資産」に接することが可能になります。

また、各図書館に設けているアクティブラーニングスペースは、学生の皆さんにとって授業の予習・復習や共同学習などに欠かすことのできないものであり、やはり知を紡ぐ場としての附属図書館の役割も益々大きくなっています。実際に、総合図書館「グローバル・コモンズ」で試験期に実施している24時間開館では、定員を大幅に超える利用があり、学部1年生が利用者全体の45%を占めていることからもその重要性が確認できます。

大阪大学では、OUビジョン2021で「知の協奏と共創によるUniversity

4.0への始動」を志していますが、附属図書館がまさにこの共創を実現する「場」として大きな期待が寄せられています。

附属図書館では、各種講習会やセミナーなど多くのイベントが開催されてきましたが、これらの大部分はこれまで主に学内構成員を対象としたものでした。しかしながら、2021年4月に開館を予定している箕面の新しい図書館は、市立図書館と大学図書館の機能を併せ持ち、市民と大学構成員が共に活用できる運用となります。図書館で実施するさまざまなイベントも、一般を対象としたより開かれたものが多く企画されるようになっていきます。

また、知の集積拠点としての附属図書館は、集積した情報をより積極的に活用し、その存在意義を高めていく必要があります。このためには、単独の部局としての活動に留まることなく、学内の関連部局とも積極的なコラボレーションを進めていかねばなりません。例えば、学内で行われている教育・研究活動の「見える化」については、学内外の多様なデータベースを関連付ける必要がありますが、経営企画オフィス、全学教育推進機構、サイバーメディアセンター、国際教育交流センターなどと協働することで、効率的かつ迅速に取り行うことができます。附属図書館の多くの職員が殻を破って活躍できる、有意義な「共創の場」を創り上げていくことが重要だと考えております。

# 大阪大学図書館報 創刊から50年

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/publish/>

発行部数：1,900部 発行頻度：年2回（2017年度現在）

## 大阪大学図書館報発行の原点

創刊は1967年。発行の意図について、当時の附属図書館長、宮地徹教授は「図書館のことをよりよく知ってもらい、利用者の声もきかせてもらいたい（1）」と述べている。そのことば通り、1970年代には、利用者の声が誌面に掲載されるようになった。その中で、学生ならではの興味深い視点から、図書館に対してサービスの改善を望む記事を見つけた。

>>>図書館での「おしゃべり」について<<<

千 藤 洋 三（法学部修士課程・当時）

・・・一つ図書館でのおしゃべりについて書いてみようと思う。まず二人だけでしゃべる場合（一人で、しゃべる人もまれにはいるが）と三人以上（多くの場合は、4~5人である）の場合に分けられるが、その各々の場合に、それぞれ男だけ、女だけ、男・女混成の三形態が考えられる。・・・男同志の場合は声のボリュームも高く、それが勉強の話しになると、割と男性の本質上熱中するのか声も高く周囲に迷惑となる。まだ世間話しの方が小さいボリュームである。・・・その他色々な利用方法が存在しているが、一つの提案として、昔日のような哲学的雰囲気の中で、静かに勉

強するという部屋以外に、館内の一室は、はっきりと共同勉強室とでもした方がよいのではないだろうか。とりわけ理科系の学生が多いこの大学では、統計資料等、友人同志でグループ勉強をする場合も多いからである。・・・（2）

記事では他にも、女同志、アベックなどの例も挙げ、図書館での学生の行動をよく観察して分析している。それにしても、求めていた「館内の一室」とは、どういうものだったのか。1972年の改修で本館（当時）に4部屋のグループ学習室が設置されたが、そういう区切られたスペースではなく、もっとオープンなものを探していたのか。そんな「話せる図書館」スペースの実現は、ラーニング・コモンズの設置（2009年）を待つことになる。

創刊から50年経った昨今、図書館からの情報発信は盛んだが、利用者と双方向の図書館報づくりとは何か、原点に触れ、改めて考えさせられた。

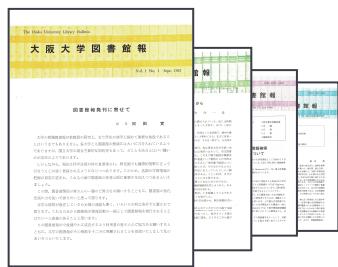
学術情報整備室 塩沢和子

(1) 宮地徹. 創刊のことば 大阪大学図書館報. 1967, 1(1), p.2

(2) 千藤洋三. 図書館での「おしゃべり」について. 大阪大学図書館報

1974, 8(1), p.4-5

## 図書館広報誌の歩み



1967年  
大阪大学図書館報創刊  
本館（現 総合図書館）発行



1984年  
館報3誌統合  
100号記念号



1990年  
100号記念号  
大きく誌面変更



2002年  
大きく誌面変更  
親しみのある誌面へ



2016年  
創刊から50年



2010年  
阪大図書館かわらばん創刊

### オンラインでの広報

2010年（～2011年9月）  
阪大ライブラリーニュース  
創刊（メールマガジン）  
2011年  
Twitter本格運用開始  
2012年  
附属図書館Webサイト  
リニューアル

# 中国哲学古典籍2,500点超の寄贈を受けて設置

# 加地伸行文庫のご紹介

このたび、本学名誉教授・加地伸行（かじ のぶゆき）先生のご厚意により、先生が学究生活の中で収集された書籍、書軸、扁額等を多数寄贈いただきました。それを受け、総合図書館貴重コレクション室内に加地伸行文庫を設置しました。2018年3月現在で2,582点を数え、今後も追加寄贈分の受入を進めてまいります。

加地先生ご本人による解説、湯浅邦弘教授と佐野大介教務補佐員による資料解題を以って文庫の紹介に代えさせていただきます。

加地伸行文庫を初めとする貴重資料の利用方法については附属図書館Webサイトをご覧ください。

●附属図書館Webサイト>総合図書館>利用案内>貴重図書を使う



加地伸行文庫書架（総合図書館貴重コレクション室内）

## 蔵書寄贈の記

大阪大学名誉教授 加地伸行

老生が京都大学文学部哲学科支那哲学史専攻を卒業した昭和35年（かの60年安保で騒乱の年）ごろ、いわゆる京都支那学派が全盛期であり研究志望者は多かった。

そのころ、研究を志す者は、書籍を購うことが第一であった。しかし、代々が中国学を家学とする、いわゆる書香家の出身でなかった老生は、基本的書籍をまず整えることから始めなければならなかった。しかも貧乏学生だったので、アルバイトも多く、大変であった。けれども、何はともあれ、購書第一とならざるをえず、それが生涯の在りかたとなった。

しかし今や老害の日々、人生を退くに当って、後世の研究者に対して、なにがしかの役に立つかとの思いで懐徳堂文庫への寄贈を求め、長年勤務した大阪大学のご快諾を乞けなくした。

ただし、同文庫への寄贈書は、形態が洋装本以外であることが前提であったので、いわゆる線装本に限った。

線装本と言えば、老生の学生時代では唐本を指しており、和刻本は枠外であった。と言うのも、当時の教授や引退老先生たちは、世代的に、本と言えば唐本を指していたからである。けれども、60年前、老生の学生時代、唐本はすでに高価であった。一方、故吉川幸次郎教授は、いま棚に積みあげられている和刻本は将来散逸する危険がある

と警告しておられた。そういうことから、貧乏学生の老生は、比較的には安価だった和刻本に関心を向けていった。これが思わぬ方向につながり、中国思想研究と同時に日本思想研究をすることとなっていました。老生の寄贈書に和刻本が多い理由の一端はそこにある。

ただし、洋装本ではあるが、大阪大学文学部中国哲学研究室には叢書集成続編（新文豊出版）180冊、同新編（同出版）120冊、中国野史集成（巴蜀書社）51冊、歴代名臣奏議（上海古籍出版社）5冊を寄贈した。因みに、阪大にすでに所蔵されている皇清經解正・続は京都産業大学に、四庫全書は同志社大学にそれぞれ寄贈した。

書籍購入は、もちろん研究者の立場からするものであったが、孤独な研究生活を癒すため、学問上からではなく、己れの趣味からの購入が三種あった。一つは易占。これは孤独の中での楽しみであった。寄贈書中、怪しげな易占本があるのはそのためである。二つめは作詩関係。老生、努力をしたが詩才はなかった。その顛末は拙著『中国学の散歩道』（研文出版）に記す。以上両方面ともに教科書や俗本が多いのはそのためである。ただし両方面ともに明治以降の多数の関連洋装本は拙宅に残置のまま。三つめは、書軸・扁額等。本来のコレクションならば一点集中であるが、それは相当の予算がなければできない。貧乏学者の老生は、江戸時代を中心に、高名な人物のものをそれぞれ少數ながら広く入手していった。今回寄贈のもの（マクリを含む）は、林羅山以下、儒者関連の重要人物を相當に含んでいる。

# 文庫所蔵資料解題

文学研究科教授 湯浅邦弘

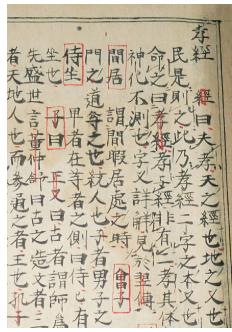
懐徳堂研究センター教務補佐員 佐野大介

## 孝経啓蒙

数量(冊数) : 1冊1冊

外形寸法(cm) : 縦27.2×横20.5

江戸時代前期の陽明学者中江藤樹による『孝経』の注釈書。寄贈者加地伸行氏（大阪大学名誉教授）の別号「孤剣楼」より、「孤剣樓本」と呼ばれる。



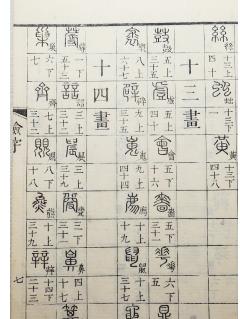
書写者に関しては、綴じ込まれた跋文において、藤沢南岳が藤樹の手写とする。また、加地氏は慎重な態度を取りつつも、「仮に親筆でないにしても……藤樹の手に成る底本の臨写」であると断じている。本書は頭書本の体裁を採り、匡郭内を上下に区切って、上部に注釈である『啓蒙』を、下部に『孝経』本文を記す。『孝経』本文には訓点及び傍注が施されている。これらは藤樹自身か、またはその弟子に命じて記せたものと考えられ、本書によって藤樹自身による『孝経』本文の読みが明らかになった部分も多い。

現存する『孝経啓蒙』諸本は幾つかの系列に分類されるが、本書は中でも末期の系列に属する、言わば『孝経啓蒙』の定本として資料的価値が極めて高い。

## 説文解字注

数量(冊数) : 2帙12冊

外形寸法(cm) : 縦25.7×横18.1



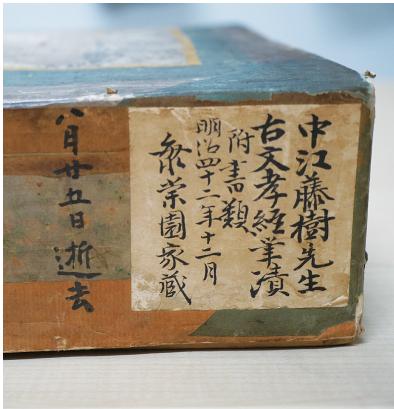
段玉裁『説文解字注』の和刻本。本書は本来全32巻であったが、その第1巻から第12巻までの部分に相当する。冒頭に小畠詩山（名は行簡）による弘化4年（1847）の序が附されており、本文の返り点も詩山によるもの。詩山は江戸後期の儒者で、亀田鵬斎、朝川善庵、頼山陽、広瀬淡窓らと交わり、長崎など諸国に足跡を残したことで知られる。

『説文解字』は、後漢の許慎の字書で、9,353字の漢字を見出し字とし、それを「一」部から「亥」部までの540部に分けて並べ解説している。『説文解字注』は、この『説文解字』に清の段玉裁が附した注釈書で、特に字音の解説が加えられ、清朝考証学における最高峰の業績とも言われている。

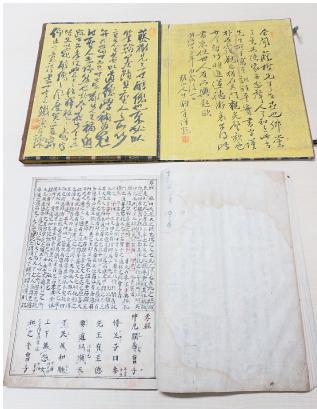
『説文解字』及びその注釈類は、日本においても代表的な字書として広く用いられた。ただ、『説文解字注』の和刻本、特に返り点が附されたものは非常に珍しく、本書は近世日本における漢籍出版という観点からも貴重な資料であると言える。



『説文解字注』一式



『孝経啓蒙』保管用外函



『孝経啓蒙』冒頭部と帙内面

線装本中、写本の筆頭は、中江藤樹『孝経啓蒙』孤剣楼本である。同書については、拙著『日本思想史研究・加地伸行著作集第2巻』（研文出版）に詳述している。『孝経啓蒙』は中江藤樹の最高傑作であるが、諸写本があり展開が見られる。その展開の到達点が孤剣楼本であると断定する。「孤剣楼」は、老生の別号である。

刻本について。崎門朱子学関係のものが約20点ある。これらには、山崎闇斎の弟子たちの多くの書き入れがあり、崎門の解釈や工夫などについて、研究対象となりうる。

『説文解字』段注・小畠行簡訓点・弘化4年の6篇は、おそらく最初の和刻本であろうかと思うが、惜しむらくは、7篇以下は未刊で終わららしい。

また、自己の学習参考のために、あえて明版や朝鮮版等の零本や宋版・元版等の経切を求める、自分の眼で見、手で触れて、唐本に対する感覚を養なった。それらは、これらの若い研究者にも味わってほしい。

語ればきりがないが、一人の研究者が己れの興味と必然との中から求めた文献が、次代の若い研究者に役立ってほしいと心から願っている。

### ●加地伸行名誉教授略歴

1936年大阪に生まれる。1960年京都大学文学部卒業、1963年同大学院文学研究科修了。1983年大阪大学教授。1997年退官。現在、大阪大学名誉教授、立命館大学白川静東洋文字文化研究所研究顧問。専攻は中国哲学史。

著書に『加地伸行（研究）著作集』全3巻、『儒教とは何か』、『沈黙の宗教－儒教』、『論語全訳注』ほか多数。

## 総合図書館

### 講習会

- ・外国語会話サブリ
- ・What's VR? ~30分でわかる! 仮想現実へ
- ・Pythonでプログラミングをはじめよう!
- ・イヤホン難聴とヘッドホン難聴~耳の役割と仕組みから考える~
- ・レーザーが拓く新しい世界
- ・Youは何しに留学へ?
- ・LSと就職活動について話そう
- ・What's CINEMA
- ・「方法」について考えてみる
- ・LSと、就活の作戦を立ててみよう
- ・「プリンセス」はフェミニスト? ~アニメ・映画から学ぶ現代のジェンダー入門~
- ・DNAも操作できる! 光ピンセットの原理~切るだけじゃない! レーザー技術の世界~
- ・伝えます 短期留学の魅力

### 図書展示

- ・ラーニング・サポーター(LS)選書  
2017年



外国語会話サブリ ロシア語

## 生命科学図書館

### 講習会

- ・人工知能について
- ・START ENGLISH TODAY 第2弾 “45分で英語メールマスター”
- ・レポート作成法
- ・プレゼンに役立つ! 「伝わる」パワーポイント講座
- ・主にPowerPointを用いた資料作成・データ整理の高効率化、時短テクニック



人口知能について

## 4図書館のラーニング・サポーター(LS)による、学ぶ人のための情報ページ

# LS FORUM



総合図書館LS  
基礎工学研究科・M1  
**武内 翔**

学部生時代の苦い思い出の一つとして、授業を分からぬまま漫然と受けていて、テストの時に痛い目にあったことが挙げられます。私の所属していた学部には、必修の授業でも、出席点、中間レポートが一切なく、期末テスト一発勝負の授業がいくつありました。普段の授業で十分に理解できる場合はよいのですが、そうでない場合に、わからないところを放置して

しまっていました。その結果、期末テスト前にツケがあり、連日徹夜で勉強することに…。このような勉強法では、結局一夜漬けになってしまい、自分のためにならないと今では反省しています。私たちLSがいるLSデスクでは、普段の授業やレポート課題、試験対策の勉強にあたってわからないところを気軽に相談していただけます。また、授業に関連する事項や、私たちの研究内容について紹介する講習会も行っております。遠慮なくご相談に来てください。いつでもお待ちしております。



生命科学図書館LS  
工学研究科・M2  
**山縣 秀人**

私の学部時代の大きな失敗は「学び」から逃げていったことです。

いかに少ない労力で最大の成果を出すかを考えていたため、点数の取得が容易な科目を重点的に受講する等、全科目高得点を得ることに必死でした。結果、卒業時には学部長賞を取得するほどには成績表が潤っていました。

しかし、結果残ったものは見栄えの良い成績表だけであり、それ自体に意味は

なく中身もありません。学ぶこと(中身)から逃げて点数(表面)にこだわったためです。

実際、今、研究を行うにあたって知識が乏しいため、現象を物理法則を用いて追うことに苦戦しています。

私のようにならないためには、学びを通して「物事の解釈の仕方」を養うことです。物理法則一つとっても視点を少し変えるだけでまた違った解釈が可能です。その訓練を行うことで、ある現象を目の当たりにした時に得られる想像力や考えが人一倍豊かになります。

是非、表面ではなく中身にこだわった学習を進めてください。



### そのほかこんなコメント <学習編>

- 世の中の物事に対して、無根拠で軽薄な意見を持つことが多かったので、図書館の資料なりをもう少し活用すれば良かったのにな、と思う。【言語文化研究科・M2】
- 3回生で受講していた専門科目のレジュメが一部行方不明になり、4回生になってからの大学院入試の勉強に支障が出た。後輩の皆さん、専門科目のレジュメは大切に保管しておきましょう! 【工学研究科・M2】
- 入学当初、ビビりだった私は締め切りを恐れ、課題のレポートを出題の翌日に提出! 全問不正解…期間内にじっくり取り組めばよいと諭してくれた先生に感謝しています。【理学研究科・M2】

# 同じ轍(てつ)を踏むなれ！！ 学部時代の失敗



LS講習会・展示  
(2017.8~2018.1.)

理工学図書館



理工学図書館LS  
工学研究科・M1  
小寺 健太

私はある研究室の内容に興味を持ち工学部電気電子情報工学科を志望したのですが、3年次のコース分けて、その研究室が所属するコースに進むことができませんでした。考えてみれば当然なのですが、希望者が集中した場合、配属されるコースは1、2年次の成績によって決定されます。当時の私は単位さえ取れればよいという気持ちで学生生活を送っていて、しかも良い成績を取る

実力もありませんでした。

ここでの私の失敗は「1年先の自分の生活を想像していなかったこと」です。将来像を意識することで、目の前のこと取り組むモチベーションを変えることができます。例えば就職活動、大学院入試、研究活動をする自分を想像することで、今やるべきことが見えてくるはずです。

私は、結果的に今所属している研究室でとても満足していますが、皆さんは後悔しないように1、2年次から気を付けてください。悩んだときはLSが力になりますので、気軽に相談してください。



外国学図書館LS  
言語文化研究科・D3  
千々岩 宏晃

「あなたは必ず失敗する。」「他人と比べない方がよい。」

この2つ、簡単なように聞こえますが、気づくのに時間がかったことです。

ひとつめ。あなたはこれからたくさん失敗をします。それはビルマ語のテストや、日本語文法に関する発表だけでなく、友人との雑談の失言などでも起こります。しかし、落ち込む時間は20分ぐら

いで充分では。次回1時間余計に準備するとか、リハーサルするとか、そういう対処方法を考える方が建設的で幸せで、何より確かに効きます。

ふたつめ。他人と比べることは不幸への近道です。友だちがいないとか、成績やお金がどうとか。そんなことより、「今日何に充実感を覚えたか」を基準にしては？授業や図書館で読んだ本などから、感動したことや得たことを探すはどうでしょう。

しかしそれでも困ったら、「えいやっ！」とLSを訪ねてきてください。何ができるか、一緒に考えましょう。

## そのほかこんなコメント <学生生活編>



- （入学時）大学でも勉強頑張ろう。（1年GW後）バイトをいっぱいしてたくさん遊ぼう。（今）学部時代に何を学んだのだろう。大学時代にできることはあとでは出来ないです。【基礎工学研究科・M1】
- いろいろと迷って決意した休学・留学で、卒業が1年半伸びました。学生時代にやりたいことは、早めに目標を立てて計画的に取り組みましょう！【国際公共政策研究科・M2】
- 初心者が、精密な研究機材の取り扱い方をよく知らずに、「大丈夫だろ」といろいろ操作しているうちに壊す様子を見かけました。マニュアルを熟読する習慣をつけてください。【歯学研究科・D4】

講習会

- ・3回生必見！研究室選びのポイント講座
- ・海外短期留学のメリットと注意点～アメリカ留学で学んだこと～
- ・将来を見据えた研究室選び～私はこうして就職しました～
- ・Inkscape講座～論文・プレゼンに！作図専用のフリーソフトで美しい図を描こう！～
- ・プラズマで表面処理をしてみよう。
- ・30分で学ぶ！暗号通貨bitcoin
- ・プログラミング超々入門！コマンドラインの基本



プログラミング超々入門！  
コマンドラインの基本

外国学図書館

講習会

- ・効果的な文章チューティングを考える会～パラグラフ・ライティングの紹介～
- ・もやもやした気持ちをまとめるためのミニエッセイライティング
- ・発表レジュメ作成法～ゼミに参加する準備はできていますか？～
- ・フィールドワーク入門講座
- ・言語学専門のあなたへ：日本語の研究で欠かせないコーパス活用の講習会

図書展示

- ・「人文社会科学系研究者のための英語論文の書き方セミナー」コラボ展示
- ・「クリティカル・シンキングに基づいた英語論文の書き方セミナー」コラボ展示



フィールドワーク入門講座

# NEWS☆図書館からのお知らせ (2017.9~2018.1)

## イベント

### ◆附属図書館イベント「夜のコンサートシリーズ」（総合・12月）

総合図書館6階図書館ホールにて、学内サークルによる下記2つの素敵なコンサートが開催されました。多くの方にご参加いただきありがとうございました。



★12/11（月）「Winter JAZZ Live」★  
出演：外国語学部JAZZ研究部desafinado



♪演目  
「枯葉」、「酒とバラの日々」  
「赤鼻のトナカイ」etc.

#### 参加者の感想

「とっても楽しませてもらいました！ありがとうございました。」

「今日はひと足早くクリスマスが来たようでたのしかったです。」

★12/22（金）「Christmas Electone Concert」★  
出演：エレクトーンサークル HANON

♪演目  
「Fantastic Christmas Medley」  
「戦場のメリークリスマス」etc.



#### 参加者の感想

「なじみのある曲があり、和やかで良かったです。年末にふさわしいですね。ありがとうございました。」

### ◆映画字幕翻訳講座2017 in 大阪大学箕面キャンパス（外国学・11月）

11月6日、外国学図書館AVホールにて、大阪大学大学院言語文化研究科・大阪映像文化振興事業実行委員会（大阪アジアン映画祭）主催、外国学図書館共催による「映画字幕翻訳講座2017」を開催しました。

## 図書展示

- ・ブックコレクション 教員 vs. 学生 書評対決  
(毎月入替) [総合・理工学]

### ◆総合図書館◆

- ・ラーニング・サポーター (LS) 選書 2017年 (10月)
- ・学生選書で選ばれた本 (10~11月)
- ・犬の本・猫の本 (12~2月)

### ◆生命科学図書館◆

- ・映像で学ぶ医療 (1~2月)

### ◆理工学図書館◆

- ・ノーベル賞の世界2017 (10月)
- ・温泉でほっこり気分 (12月)

### ◆外国学図書館◆

- ・第14回 専攻語図書リレー展示「ポルトガル語」 (10月)
- ・第59回 14冊の本棚

「字幕翻訳の世界へようこそ14冊+α」 (10~11月)  
・第60回 14冊の本棚 「カズオ・イシグロ氏ノーベル賞受賞記念—移民にまつわるエトセトラ 14冊+α」 (12月)

## 講習会・セミナー

図書館では様々な講習会等を企画しています。開催情報は、随時かわらばん・Webサイト等でお知らせします。

### ◆データベース利用講習会

- 11/10 LexisNexis Academic [総合・外国学]
- 11/22 New York Times collection [外国学]

### ◆総合図書館

- ・としょかん秋の卒論まつり (11月)
- ・ケンブリッジ大学出版局によるセミナー  
「How to Publish Your Articles/Books?」 (11月)
- ・クリティカル・シンキングに基づいた  
英語論文の書き方セミナー (1月)

### ◆理工学図書館

- ・工学系の論文の探し方入門：超入門編 (10月)
- ・工学系の論文の探し方入門：基礎編 (10月)

Vol.51 No.2 通巻192号

2018年3月22日 発行

編集：大阪大学附属図書館

担当：岡田綾子、大塚志乃、日高正太郎、

瀧谷あづさ、塩沢和子、是枝奈美江、

山本侑子、北川律子、宮地佐保、六車彩都子

住所：大阪府豊中市待兼山町1-4

Web：<https://www.library.osaka-u.ac.jp/>

E-mail：[kohowg@library.osaka-u.ac.jp](mailto:kohowg@library.osaka-u.ac.jp)

Twitter：[@OsakaUnivLib](https://twitter.com/OsakaUnivLib)